

次世代自動車センター浜松 活動レポート Vol. 350

■ 自動車工学関連講座（新人・若手社員向け Web セミナー）
第2回「製造現場での5S」（会員限定）

次世代自動車センター浜松では、昨年度に引き続き、会員企業の皆様のアンケートにお応えし、新人・若手社員の社内研修として会員企業の皆様のお役にたてるよう、新人・若手社員の皆様に必要な自動車部品の製造に関する基本的なスキルを身につけていただくため、自動車工学関連講座新人・若手社員向け Web セミナーとして、「自動車部品の製造工場における安全教育」、「製造現場での5S」、「自動車の構造と製造工程」、「製造現場の品質管理」の4回連続の講座を開催しています。

今回は、第2回「製造現場での5S」として、当センターの松浦技術コーディネーターが講師となって、仕事の入口となる5Sとは何か、5Sの進め方、5S活動が定着しないなど製造現場で日頃困っていることの解決方法について解説する Web セミナーを開催しました。

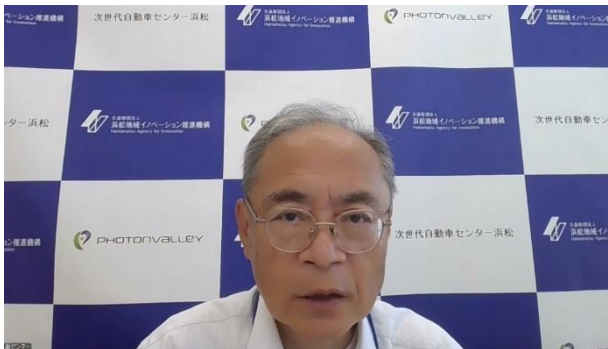
- 日時：2026年5月20日（水）13時30分～14時30分
- 場所：Web形式
- 参加者：44社／189名

2026年度 自動車工学関連講座
(新入社員及び若手技術者向け)

製造現場での5S

(整理、整頓、清掃、清潔、躰)
(Seiri, Seiton, Seisou, Seiketu, Situke)

2026年5月20日
次世代自動車センター浜松



2. 5Sとは (1) 5Sの定義

頭文字の5つの「S」
整理 (SEIRI) 2S
整頓 (SEITON) 3S
清掃 (SEISOU)
清潔 (SEIKETU)
躰 (SITUKE)

2. 5Sとは (5) 5Sのできていない現場、できた職場

クレーン作業がある金型組立職場

- 作業エリアと通行エリアの区分なし
- エアークレーンが飛び交う
- 枕木、吊り具、脚ハンマーなどが通路や作業スペースに散乱

労災発生の可能性が大きい。

- 黄色線で作業エリアと通行エリアの区分
- 床に敷かれていたエアークレーン、吊り具、工具等が工具台車に集約

労災発生の可能性が小さくなる。

3. 5Sの進め方 (4) 整理・整頓のポイント

● 5Sの教育
● モデル職場を決める
● 整理、整頓
● 清掃
● 効果の確認
● 清潔
● 全社展開
● 躰

必要なものとは「使え、使わなければならないモノ」ではなく「ここで使うモノ」
「保留したモノがいつまでも使われなかったら、要らないモノ」
「必要なモノを、必要な時に誰でも使えるようにする事」
「3Sが維持管理できる仕組み、ルールを作り、運用する事」

必要なものとは「使え、使わなければならないモノ」ではなく「ここで使うモノ」
「保留したモノがいつまでも使われなかったら、要らないモノ」
「必要なモノを、必要な時に誰でも使えるようにする事」
「3Sが維持管理できる仕組み、ルールを作り、運用する事」

1人ではなく複数人で行う
複数人のほうが判断が早い

判断基準の例			
What	有る	工具、○○部品、検査機器…	例
Where	どこで	○○工程、○○設備、	
When	いつ	毎サイクル、1回/日、1回/週	
Who	誰が	作業員、監督者、安全者	
Why	なぜ	組立に、検査に、始業点検に	
How much	どれくらい	1個、2個、10個	

4. 5Sの評価方法とレベルアップの効果

(1) チェックシートによる評価

目的は、5Sの実施状況を定量的に評価し、改善の必要性や進捗状況を把握することです。

チェックシートの例

(2) 図や写真を判断基準にしたもの。

インターネットでチェックシートをダウンロードすることができますが、チェック項目が非常に多い場合があります。職場にマッチしたチェックシートを作りましょう。

チェックの結果を全員で共有する

【参加者の声】

- ・ 5 Sの定義とはなにか？から始まり、一つ一つのポイントを押さえ、どのように導入していくか、維持、改善、展開していくかを知ることができた。
- ・ 5 Sを実施することで、安全、品質、生産時間などに効果があることを学び、実習においても整理、整頓、清掃からまず意識していこうと思った。
- ・ ただ5 Sを心がけていくだけでなく皆で話し合いながら決まりをきめていく工程にも意味があることを知った。整理、整頓は良いことしか起こらないと思った。
- ・ 5 Sを1つずつ掘り下げて説明されたため、深く知ることができた。社内の自分達が活動している部屋をより綺麗にしようという意欲を持てた。
- ・ 5 Sの必要性がよく理解できた。特に整理、整頓をすることで作業、仕事の改善につながるということが理解できた。5 Sを習慣づけて、要るものと要らないものの区別をつける重要性を理解できた。
- ・ 整理のポイントは要・不要の判断を先延ばしにしないこと、整頓のキーワードは見つけやすく、取り出しやすくと理解した。
- ・ 5 Sを行うにあたって、難しく考えすぎてなかなか改善点を見つけることができなかったが、まずは簡単なものから始めて成功を実感してみることが大切だと知った。5 Sといったらまずは清掃を行うというイメージが強かったが、まずは整理整頓の2 Sから徹底していくことが重要だとわかった。
- ・ 5 Sでの清潔とは、3 Sを維持するためのルールを作ることとの内容に驚いた。キレイにすることとの思い込みがあったが、改めて考えるきっかけになった。
- ・ 5 Sが日頃の生産活動のムダをなくすことだけでなく、安全性や人材育成にもつながることがわかった。おしつけられたルールより自分たちで決めたルールでないと守らないというのはとても参考になった。
- ・ 5 Sの躰について、ボトムアップ式を進めることを知り、課題に対して自分で納得できるルール造りをメンバーと作っていききたい。
- ・ 5 Sを徹底することでムダを無くすこと以外にも、プラスになる面が沢山あることを学べた。5 Sによって安全、品質、効率が改善されることがわかった。
- ・ 5 Sの実施の順番が参考になった。5 Sの定着化の難しさが参考になった。
- ・ 5 Sの進め方でいきなり全体でやるのではなく、モデル職場を決めてからやれば、小さなことからコツコツできる。5 Sが習慣になりやすそうだった。
- ・ 5 Sの内容を知っているようで知らなかったことを認識した。良い例、悪い例による結果の違い、現場任せではなく全社での取り組み、経営層の本気度が不可欠なところが、参考になった。
- ・ 整理、整頓、清掃など基本のことだが、安全や品質、生産性にも影響してくることなので5 Sパトロールを実施して職場全体で取り組んで活動するなど参考になった。
- ・ 5 Sの徹底（PDCAサイクル）でムダ取りにつながることで、活性化、定着化のためのイベント実施（赤札作戦）が参考になった。
- ・ 定期的に5 Sをチェックシートで評価をして、改善の必要な場所を見つける。職場の全ての人に5 Sの効果を報告することが参考になった。
- ・ 5 Sが上手くいかない原因についての説明を聞き、なかなか皆に浸透しない理由を改めて実感した。
- ・ 5 Sによる効果や目的が明確に理解でき私生活でも活用できるため、これからも意識し、仕事などにいかしていきたいと思った。
- ・ 5 Sの大切さを再認識した。職場だけでなく家でも5 Sの必要性を感じた。事例として、工具類の整理・整頓で同じサイズのソケットがいっぱい出てきたところは印象に残った。